

過去の実施事業一覧
も掲載しています！
【15 ページ～】

船橋市 市民公益活動公募型支援事業

事業事例集

令和3年度 実施分



市民協働課 PR キャラクター

@ワン @にゃん



船橋市 市民生活部 市民協働課(令和4年9月発行)

目次

本事例集の発行にあたって	1 ページ
令和 3 年度 交付実績	1 ページ
令和 3 年度 実施事業 全 6 団体 ()は事業名	
<u>1 船橋古文書の会</u> (読んでみませんか！古文書講座(初級編))	3 ページ
<u>2 フェアトレードちば</u> (フェアトレードちばを知り学び味わう！コーヒーワークショップの実施)	5 ページ
<u>3 船橋行田公園走友会</u> (第 30 回 船橋行田公園 100 kmリレーマラソン大会)	7 ページ
<u>4 プレーパーク船橋</u> (長津川プレーパーク～ロープワークをマスターして遊び場を手作りしよう！～)	9 ページ
<u>5 NPO法人発達障害支援ネットYELL</u> (発達障害に関する講演会)	11 ページ
<u>6 NPO法人JASH日本性の健康協会</u> (船橋にも多様な性を語れる交流会を！)	13 ページ
これまでの交付実績(平成22年度～令和 3 年度)	15 ページ

本事例集の発行にあたって

「船橋市市民公益活動公募型支援事業」は、「市民との協働によるまちづくり」があらゆる場面で展開されるように、市民の皆さんによる地域に役立つ取組みに対し、平成22年度に創設されました。

本事例集は、事業創設初年度から、事業を実施した団体の協力を得て毎年度作成しています。これまで作成した事例集は、市ホームページにて公開していますので、是非ご覧ください。

支援金の種別	支援率上限	限度額
I型 1つの公益的なイベントの実施に対する支援金	支援対象経費の 80%	10万円
II型 一連の公益的な活動に対する支援金	支援対象経費の 50%	100万円

令和3年度 交付実績

種別	申込件数(件)	採択件数(件)	交付件数(件)	交付額(円)
I型	6	5	5	293,664
II型	2	1	1	114,495
合計	8	6	6	408,159

事例紹介

(全 6 事業)

【1日目写真】



会長挨拶

冒頭で船橋市の支援事業として、講座及び講師の紹介を行いました。



講義中の様子

受付(写真左下)では遮蔽シートを活用し、感染症対策に配慮しました。

【2日目写真】



講義中の様子①

定員(219名)に比べ、机椅子席では感染対策を考慮すると大幅減(Max70席)となりました。



講義中の様子②

講師は黒板に大きな文字を書いて解説。後ろからも見えるよう、太字マーカーやマーカー消しなどを用意しました。

団体概要:当会は平成十年、船橋市内の有志が集まって設立した古文書学習の同好会です。定例会は薬円台公民館を基本に月二回開催しています。地元千葉や船橋の古文書を取り上げて地域文化の掘り起こしを行うとともに、国立公文書館などの古文書を広く取り上げて読んでいます。特に力を入れているのが、新入会員への教育です。独学で断念する方も多い古文書学習を古参会員が援助し、新入会員が出来るだけスムーズに会の活動に参加できるようバックアップする制度です。また、一般の方を対象とした古文書講座を開催し、古文書の面白さを体験いただく活動も行っています。

問合わせ先 氏名: 井上 正道 090-5444-4227 inouefa@skyblue.ocn.ne.jp

団体名	フェアトレードちば		
事業名	フェアトレードを知り学び味わう！コーヒーワークショップの実施	種別	I型(1年目)

課題

- ・市内でのフェアトレードの認知度が低い
- ・2030年のSDGs達成に向けて、目標の1つでもある「つくる責任つかう責任」を実現するために、消費購入アクションから市民の参加を促したい

事業内容

フェアトレードを知り学び味わう！コーヒーワークショップの実施

【目的:市内におけるフェアトレードの啓発】

- ☑ いつ? 令和3年12月26日(日)
- ☑ どこで? 会場(勤労市民センター)とオンライン(Zoom)のハイブリッド開催
- ☑ 内容は? フェアトレードに関する講話とコーヒーのワークショップ
- ☑ その他 金子 和則 氏 パン工房ろーずまりー(NPO 法人しーど)代表をゲスト招待
- ☑ 参加者は? 一般市民 20 名
- ☑ その他 市内でフェアトレード品の製作・販売などを行っている団体などのリストアップを行い、調査しながら 27 件をリスト化 →令和 4 年度にマップを作成予定

事業費(A) 80,880 円	支援金(B) <u>64,704 円</u>
事業収入 7,500 円	事業費に占める支援率(B/A) 80%

事業費内訳(単位:円)

1	講師謝礼	31,000	4	Zoom 利用・資料郵送料	18,472
2	コーヒー材料代	12,913	5	ボランティア保険料	1,750
3	チラシ・資料印刷費	12,125	6	会場使用料	4,620
				1~6 合計(A)	80,880

目的

効果

- ・今回の取り組みを通して、フェアトレードに関する知見が広がった
- ・市内でのフェアトレード関係団体のネットワーク化が進んだ

工夫したこと

コーヒーのおいしい淹れ方をテーマにしたこと。コーヒーに関心をもってご参加いただき、フェアトレードについて出会うきっかけとしてもらうことができた。

マップ作りでリスト化し初訪問したろーずまりーさんとお話し会を開くことで、関係性の構築が行えた。

担当者より

コロナ下でオンラインと会場のハイブリッド実施に挑戦し、参加者が安心して参加できる場づくりを進め、テクニカルな部分での経験を積むこともできた。

夏のボランティア体験プログラムとの相乗効果もあった。大学生 1 名が継続参加してくれていて、船橋にフェアトレードを広げていく力になってくれている。



ゲストスタッフ参加者とのお話し会記念写真



金子さんよりミャンマーのパームシュガーの説明



おいしいコーヒーを淹れる様子



金子さんより自転車作業で使用するパンクしないチューブの説明

団体概要

2010年より千葉県内からフェアトレードをテーマにした催事や勉強会の実施、ネットワーク化に取り組み、フェアトレードの認知普及を促進しています。団体のボランティアメンバーは船橋市民も多く、この公益活動助成事業を通して、船橋市にもフェアトレードの輪を広げたいと思っています。

問合わせ先 氏名: 成瀬・川島 e-mail: fteventchiba@gmail.com

団体名	船橋行田公園走友会		
事業名	第30回 船橋行田公園 100 kmリレーマラソン大会	種別	I型(1年目)

課題	・行田公園での組織的な活動が少なく、世代間交流も希薄である
	・健康のために個人で運動をしている人がいるが、地域全体での活動は少ない
	・健常者と障害者が一緒に活動する場が少ない

事業内容・目的	第30回 船橋行田公園 100 kmリレーマラソン大会										
	【目的:世代関係なくランナーが走ることで、地域の共生及び活性化を図る】										
	☑ いつ? 令和3年8月1日(日)	☑ 参加者は? 一般ランナー22チーム									
	☑ どこで? 船橋行田公園	☑ その他									
	☑ 何を? 10人1チームで、50キロのリレーマラソン大会 ※感染症対策のため距離短縮	ふなばし夏のボランティア体験事業として、延70名の高校生ボランティアが運営協力									
	<table border="1"> <tr> <td>事業費(A)</td> <td>176,218円</td> </tr> <tr> <td>事業収入</td> <td>0円</td> </tr> </table>	事業費(A)	176,218円	事業収入	0円	<table border="1"> <tr> <td>支援金(B)</td> <td>33,218円</td> </tr> <tr> <td>事業費に占める支援率(B/A)</td> <td>18.9%</td> </tr> </table>			支援金(B)	33,218円	事業費に占める支援率(B/A)
事業費(A)	176,218円										
事業収入	0円										
支援金(B)	33,218円										
事業費に占める支援率(B/A)	18.9%										
事業費内訳(単位:円)											
1	走路警備費	17,600	3	スポーツ傷害保険料	37,600						
2	運営消耗品費(消毒用品など)	89,246	4	公園使用料	31,772						
				1~4 合計(A)	176,218						

効果	・老若男女が同じ周回コースでタスキをつなぎ走ることによって、地域活性化や世代間交流が促進された
	・ボランティア活動に参加した青少年の社会性が向上した
	・チーバ君を活用することで、大会参加者以外の公園一般利用者との交流が実現した

工夫したこと	<p>コロナ対策として、通常は100周するところを半分の50周回にすることで、時間短縮を図り昼食前にレースを終了するとともに、中継地点での密を防ぐために、2か所に分散して大会を実施しました。</p> <p>ふなばし夏のボランティア体験事業を通じて学生ボランティアを募集して、多くの学生に参加していただきました。</p>
--------	---

担当者より	<p>公益活動公募型支援事業として採択されたことで、学生ボランティアの募集に際しても多くの学生の応募をいただくことが出来ました。</p> <p>この大会の案内にも船橋市公益活動公募型支援事業と記載することで、地域の皆さんにも大会の意義が浸透することができたと思います。</p> <p>令和4年度以降も、行田公園100キロリレーマラソン大会を継続することで、地域の交流の場として、また世代間の交流にも寄与していきたいと考えています。</p>
-------	---



大会ボランティアとして参加した学生の皆さん



チーバ君は一般の公園利用者の方にも大人気でした。



大会を盛り上げてくれたチーバ君とランナーとしても走った学生ボランティアの皆さん

団体概要

船橋行田公園走友会は、毎月第2.3.4日曜日、朝8時から地域の皆さんと一緒にラジオ等を行ったあと、ジョギング、ウォーキングを行い、地域の皆さんの健康づくり活動を行っています。そのあとは走友会メンバーと希望者で行田公園やその他船橋市内外をランニングしているグループです。ラジオ体操等は、どなたでも参加可能ですので、多くの皆様の参加をお待ちしています。

問合わせ先

氏名: 木下 真一

e-mail: naorina700@yahoo.co.jp

団体名	プレーパーク船橋		種別	I型(1年目)
事業名	長津川プレーパーク～ロープワークをマスターして遊び場を手作りしよう！～			

課題	・自然の中で子どもたちがのびのび遊べる場所が減少している
	・子育てに不安・孤独を感じている保護者が多い
	・少子高齢化により地域のつながりの希薄化している

事業内容・目的	長津川プレーパーク～ロープワークをマスターして遊び場を手作りしよう！～				
	【目的:遊び場づくりのきっかけ及びプレーパークの活動を体験してもらう】				
	☑ いつ?	☑ 講師は?	濱宇津 朋彦氏(ツリークライミングジャパン認定ツリークライマー)、中島 良介氏(千葉県冒険遊び場ネットワーク所属のプレイワーカー)		
	1日目 令和3年11月28日(日)	2日目 12月12日(日)	参加者は?		
	☑ どこで? 長津川親水公園	・1日目…小学生以上の49名			
	☑ 何を?	・2日目…誰でも参加可で123名			
	☑ 何を?	・1日目…ロープワーク講座			
	☑ 何を?	・2日目…実践編プレーパーク			
	事業費(A) 84,580円	支援金(B) 67,664円		事業費に占める支援率(B/A) 80%	
	事業収入 0円				
事業費内訳(単位:円)					
1	講師謝礼	45,000	3	チラシ印刷	1,780
2	プレーパーク用のロープや紐	30,770	4	参加者用保険	7,030
			1~4 合計(A)		84,580

効果	・地域でともに育ち合うコミュニティづくりの一助となった
	・子どもたちが、のびのびと過ごせる野外の遊び場の良さを共有出来た
	・参加者が主体的に場作りに関わるきっかけが作れた

工夫したこと	日頃の遊び場で「自分でロープ遊具を作ってみたい!」という声が多かったので、参加者がロープの結び方や遊具の作り方を身につけられるロープワーク講座と、学んだことを実際のプレーパークの中で活かしながらロープ以外の遊びも楽しめる実践編プレーパークの2日構成にしました。
	遊び場でのリスクとハザードや子ども主体の遊びについても紹介し、重大な危険を避けつつ子どもたちがやってみみたいことに自由に挑戦できる場、参加者ひとりひとりが主役のみんなで作る地域の遊び場であることを周知しました。

担当者より	ロープワーク講座に参加した方が2日目のプレーパークにいらして、「自分でこんな遊具が作れるんだ!」「工夫していろいろやってみるとおもしろいね!」と夢中になって遊んでいる様子が印象的でした。普段の遊び場ではなかなか伝えきれないことをお話しできたのも良かったです。コロナ禍の中でも、密を避けて対面で交流できる野外の遊び場の良さを伝えることもできました。
--------------	---



講師によるデモンストレーション(1日目)



ブランコ作りに挑戦する親子(1日目)



参加者が作ったクモの巣ロープ(2日目)



スタッフと子どもたちで作ったはしご(2日目)



手作りのブランコを満喫する子どもたち(2日目)

団体概要

子どもたちが自然の中でやりたい遊びに挑戦できる冒険遊び場「プレーパーク」を毎月第2日曜日に、未就園児向けのプチプレーパークを月2~3回平日の午前中に開催しています。

主な活動場所は長津川親水公園と大神保青少年キャンプ場で、毎回多くの親子で賑わっています。大人も子どもものびのびと安心して過ごせる場であることを心がけ、遊び場が地域コミュニティとして多くの人の居場所となるよう活動に取り組んでいます。

問い合わせ先 氏名: 南山 聡子 e-mail: funabashi.playpark@gmail.com

団体名	NPO 法人発達障害支援ネット YELL		
事業名	発達障害に関する講演会	種別	I 型(1年目)

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における特別支援教育の啓発が進んでいない ・コロナ禍において、悩みを相談できずに1人で抱えやすい状況にある
-----------	---

事業内容・目的	発達障害に関する講演会											
	【目的:発達障害の当事者及びその支援者の支援、一般市民への啓発活動】											
	<input checked="" type="checkbox"/> いつで? 令和3年10月2日(土) <input checked="" type="checkbox"/> どこで? 会場(勤労市民センター)とオンライン(Zoom)のハイブリッド開催 <input checked="" type="checkbox"/> 何を? 発達障害に関する講演会	<input checked="" type="checkbox"/> 講師は? 伊庭 葉子 氏 (さくらんぼ教室 代表) <input checked="" type="checkbox"/> 参加者は? 保護者、教育関係者、福祉関係等者の計14名										
	<table border="1"> <tr> <td>事業費(A)</td> <td>82,195 円</td> </tr> <tr> <td>事業収入</td> <td>8,000 円</td> </tr> </table>	事業費(A)	82,195 円	事業収入	8,000 円	<table border="1"> <tr> <td>支援金(B)</td> <td>65,756 円</td> </tr> <tr> <td>事業費に占める支援率(B/A)</td> <td>80%</td> </tr> </table>	支援金(B)	65,756 円	事業費に占める支援率(B/A)	80%		
	事業費(A)	82,195 円										
事業収入	8,000 円											
支援金(B)	65,756 円											
事業費に占める支援率(B/A)	80%											
事業費内訳(単位:円)												
	1	講演会講師代	20,000	4	Zoom 有料プラン・郵送	14,968						
	2	用紙・文具	16,404	5	会場使用料	18,670						
	3	リーフレット・チラシ印刷	12,153	1~5 合計(A)		82,195						

効果	・当事者への具体的な接し方や対応の仕方を学ぶ機会を提供できた
-----------	--------------------------------

工夫したこと	<p>私たちはこれまで直接会えることを大切にしてきましたが、コロナ禍でもつながれることや、オンラインでの参加しやすさの利点も加え、今回、初めて、会場とオンラインを選んで参加できるハイブリッドの形式で開催しました。子育て中や気力・体力の低下などで外に出にくい方、ご高齢やスマホやパソコンをお持ちでない方も、ご自分に適した参加の仕方を選択していただき、参加・視聴していただけるように工夫しました。</p>
---------------	--

担当者より	<p>発達障害のある子どもの置かれた立場、状況の事例を上げながら、どのようにしたら子どもが理解し、周りから理解されるかなど、教室での実績に照らして話を伺えました。今の閉鎖的なコロナ禍で、多くの参加者(保護者・教師・支援者等)から具体的な接し方、対応の仕方など、とても参考になったし勇気づけられたという感想をいただきました。私たちもとても勉強になりました。</p> <p>参加者の声を基に、令和4年度は、発達障害のある人の就労支援とライフスキル支援をテーマにした学習会の準備を進めています。今後も、地域の中での情報発信と連携を大切にして、活動を継続していきたいと考えています。ご支援をよろしくお願い申し上げます。</p>
--------------	---



勤労市民センターでの学習会



オンラインと会場参加の併用による学習会・交流会にチャレンジしました。



打ち合わせの様子



リーフレット新しくなりました!

団体概要

発達障害のある人は、家族も教育関係者・支援者も地域も、そしてなにより本人が適切な支援を切望しています。私たち YELL(エール)は、「発達障害の理解と支援の輪を地域に広げよう!」という趣旨の基に活動しています。

問い合わせ先 氏名: 宗形 奈津子 e-mail: newinfo@shienet-yell.page

団体名	NPO 法人 JASH 日本性の健康協会	
事業名	船橋にも多様な性を語れる交流会を！	種別 II型(2年目)

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・LGBT 当事者への無理解や偏見が原因で、いじめや自殺につながりやすい ・LGBT を知る機会や会う機会が少ないため、身近に当事者がいないと考える人が多い
----	---

事業内容・目的	船橋にも多様な性を語れる交流会を！					
	【目的:LGBT 当事者同士の交流会の開催、LGBT の普及に資するフライヤー作成・配布】					
	<input checked="" type="checkbox"/> いつ? 令和3年4月1日 ~令和4年3月31日	・LGBT に関するフライヤーの作成 (4 コマ漫画を盛り込むほか、ショート動画を作成し二次元 コードを掲載) →小中高、非営利組織、クリニック、店舗など 502 箇所に郵送				
	<input checked="" type="checkbox"/> どこで? 船橋北口みらい図書館 または Zoom					
	<input checked="" type="checkbox"/> 内容は? LGBT 当事者等を対象とした、年4回(対面1回、オンライン3回)の交流会(延べ参加者 24 名)					
	事業費(A) 228,991 円 事業収入 28,000 円	支援金(B) 114,495 円 事業費に占める支援率(B/A) 50.0%				
	事業費内訳(単位:円)					
	1	イラスト作成費	30,000	4	フライヤー送料・Zoom 使用料	68,920
	2	文具・消耗品費	14,252	5	郵送・切手代	9,500
	3	フライヤー印刷費	20,779	1~5 合計(A)		228,991

効果	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者同士の交流の場を提供できた ・船橋市民への LGBT の周知・啓発に繋がった ・船橋市が、LGBT の理解促進に積極的な自治体であることのアピールとなった
----	---

工夫したこと	LGBT 当事者の事例をベースに 4 コマ漫画やイラストを制作し、親しみやすく、分かりやすいアプローチを心がけた。
--------	---

担当者より	<p>LGBTQ への無理解や偏見が社会課題となっている一方で、知る機会や会う機会が少ないため、身近に当事者がいないと考える人が多いことが実情です。船橋市民にももちろん LGBTQ はいます。身近にはいないのではなく、話せない社会であることが少しでも浸透していくと良いなと思っています。フライヤーや交流会への反応などは限定的で、どうしたら市民に届くのか試行錯誤しています。</p> <p>2021 年 12 月に船橋市にもパートナーシップ宣誓制度が制定されました。より多くの市民に知っていただけるよう今後も取り組んでいきます。</p>
-------	---



オンライン交流会の様子

※いずれの写真も参加者から載許諾を得ています。

LGBT という言葉を知っていますか？

～ 船橋にも多様な性を語る交流会を！～



LGBTとは？

- L レズビアン (女性同性愛者)
- G ゲイ (男性同性愛者)
- B バイセクシュアル (両性愛者)
- T トランスジェンダー (性別違和)

ただ、これに限るものではなく、「性別」や人を好きになる気持ち、項目がないグラデーションなものです。LGBTs (セクシュアル・マイノリティ) と「s」をつけることによって、多様な感じ方や考え方があつてあつてもあります。

LGBTと職場や生活

あたりまえと思っていること、何気ない日常のふとしたことでも、視点を変えると社会で課題になっていること、困っている人がいたりすることがあります。LGBT当事者を取り巻く現状として、社会の無理解や偏見によるいじめや自殺率の高さがあげられ、マイノリティの生きづらさが社会課題となっています。知る機会が不足していること、当事者と会う機会がないことから身近にはLGBTがいないと考える人が多いことが分かっています。実際はカミングアウトしづらい社会のため見えない存在となっています。

令和3年度は、イラストを取り入れたフライヤーを2回配布します。社内や職場内でぜひ回覧などにご活用ください。



令和3年度船橋市市民公益活動
募型支援事業の支援を受けています。

フライヤー表面

ふなばしパートナーシップ宣誓制度が 2021年12月16日にスタートしました！

～セクシュアリティ・ジェンダー～

パートナーシップ制度とは？

パートナーシップ制度は、地方自治体が同性カップルを、婚姻と同等のパートナーと承認する制度です。

海外では同性婚が合法化されている国もありますが、日本では同性婚は認められていません。日本国憲法第24条1項では、「婚姻は、両性の合意のみに基づいて成立し」と定められており、実質同性の婚姻届けは役所では受理されないようになっています。

パートナーと公的に認めるもので、法的効力はありませんが、パートナーシップ制度を導入する自治体は近年増えており、公営住宅への入居や医療機関での面会・医療同意が認められるなどメリットがあります。また、制度が広がることで、LGBTの理解促進はもちろん、女性や子ども、高齢者、障害者、外国人などを理由に差別されることなく、多様性を認め合う人権尊重にも、一役かかっているとも言えます。

パートナーと一緒に生きていくことを選ぶとき、結婚を望んだり、周りから祝福されたいと願うのは自然なことではないでしょうか。



千葉での取り組み

千葉県では、2019年にまず千葉市で、その後松戸市、浦安市で制度が導入されました。千葉市のパートナーシップ制度は、同性カップルだけでなく、事実婚の異性カップルについても婚姻と同等と認め、全国的な制度となっています。また、柏市の公立中学校では性別関係なくスラックススカートを選べる制服の導入があり、八街市や東金市など、窓口関係手続書類の性別欄を廃止する自治体も出てきています。

船橋市は？

市職員向けのLGBT研修や市民への啓発パネル展や講座開催など、活発な取り組みを続けてきました。そして、2021年12月にパートナーシップ宣誓制度が制定されました。パートナーシップ制度を持つ、共同生活を営む2人なら性別は問わないパートナーシップ制度です。JASHでも市在住メンバーが市内別団体や市議会議員と連携し、市風面談など連携してきました。千葉県内でも数郡の暮らしやすさを誇る船橋市。多様なバックグラウンドの人たちが暮らしやすい地域を目指しています。

講演 & 研修について

知る機会が不足していること、LGBT当事者が身近にいないという現状を社会課題ととらえ、課題解決の一つとして、LGBT啓発の講演・研修を提案しています。

企業研修 プログラム例

対象：社内研修やCSR研修、または人事担当者
第1回 LGBT基礎知識
第2回 LGBT当事者座談会

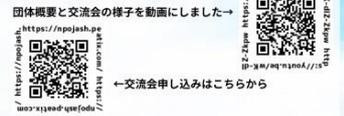
交流会について

2021年度は船橋市内で交流会を4回開催しています。お気軽にご参加ください。
第三回 ALL SEXUALITY交流会～職場とセクシュアリティ～ 日程 2022年1月23日(日) 15:00～17:00
第四回 ALL SEXUALITY交流会～ヒューマンライブラリー～ 日程 2022年3月13日(日) 15:00～17:00
場所 オンライン 場所 船橋駅徒歩5分の会場/オンライン

※交流会は感染症対策のうえ、開催します。新型コロナの状況によって、オンライン開催に変更することもあります。

NPO法人JASH (ジャッシュ)
船橋市を拠点に活動するNPOです。ご寄付や賛助会員を募集しています！

お問い合わせ：tel: 090-6027-2003(イノマタ)
e-mail: info@npojash.org
団体サイト: https://www.npojash.org



フライヤー裏面

団体概要

2012年発足、2013年にNPO法人化した「性の健康」に取り組むNPO法人です。千葉県を中心に関東圏での中学高校や教職員向けの講演活動、またLGBT当事者とAllyの対話型交流会イベントを船橋やオンラインで開催しています。交流会は高校生から大人まで、年齢もセクシュアリティも多様な参加者が集まり、性やセクシュアリティについて安心して話ができる場を作っています。

問い合わせ先

氏名: 猪俣 加菜子

e-mail: info@npojash.org

これまでの交付実績 (平成 22 年度～令和 3 年度)

補助金を使って事業を実施した団体と事業の一覧です。分野ごとに掲載していますので、過去の事例を参考に、本制度の活用を検討していただけると幸いです。

各事業の詳細は、過去の事例集をご覧ください。

過去の事例集(市 HP にリンクしています。) ※「H〇〇、R〇」は実施年度を示します。

H22	H23	H24	H25	H26	H27
					
H28	H29	H30	R1	R2	R3
					

1 保健、医療又は福祉の増進

団体名	事業名	実施年度			
船橋市手話サークル さざんか	ひろげよう“手話の輪”！聞こえない人たちも暮らしやすい船橋に	H30			
NPO法人生き方応援団ララ	心のバリアフリーで船橋をモデル都市に！障がい福祉事業	H28			
ふれあい船橋	触れ合うことによるコミュニケーションの提案事業	H27	H28		
公益社団法人船橋地域福祉・介護・医療推進機構	「食と健康」に関するシンポジウムの開催	H22	H23	H24	H25
	船橋地域福祉相談会「船橋福祉塾」	H26			
NPO法人うえるかむ権利擁護サポートセンター船橋	知的障害者と家族等の権利擁護と成年後見制度の相談と支援事業	H23	H24	H25	H26
NPO法人 船橋ウォーキング・ソサイエティ	市民の為の各種ウォーキング体験会にて、健康増進活動推進事業	H23	H24	H25	H26
オアシス家族会	精神障害者を抱える家族に対する支援事業	H24	H25	H26	
特定非営利活動法人 千葉県中途失聴者・難聴者協会	文字を生かしてコミュニケーション「筆談を学ぼう」講座	H24	H25	H26	

団体名	事業名	実施年度			
市民後見センターちば・船橋	成年後見制度を広く船橋市民に広め、市民後見人を養成する事業	H23	H24	H25	
プレシャスライフ倶楽部	粋・生き健康生活づくりですこやか船橋！市民協働の健康とまちづくり事業	H24			
NPO 法人シニア・システム協議会	中・高齢者のためのマナトモ大学で生涯学習をたのしもう	H22			
Smile 船橋ビンちゃんと	笑いヨガ講座	R2			
船橋行田公園走友会	第30回 船橋行田公園100kmリレーマラソン大会	R3			
NPO法人発達障害支援ネットYELL	発達障害に関する講演会	R3			

2 社会教育の推進

団体名	事業名	実施年度			
正伯塾	ふなばし郷土史講座	H27			
“伝えよう船橋”の会	船橋かるたによる、子供の健全育成を図る活動及び住みよい魅力あるまちづくり推進	H24	H25	H26	H27

3 まちづくりの推進

団体名	事業名	実施年度			
丸山を元気にする会	周辺農家、大学生、専門家と連携した魅力的な船橋市丸山地域づくり事業	H27			
船橋金杉 club	地域友好促進支援サポート事業	H22			
街に花と緑の会	前原西2丁目花と緑のまちづくり活動	H23	H24	H25	H26
ふるさとまちづくりの会	お休みどころ「かつしか」の設置	H22			
ふなばしっぐ海遊創生協議会	「船橋お散歩海道」プロジェクト	H22	H23		
船橋美し学園街づくり館運営協議会	坪井地区(船橋美し学園)コミュニティ自立推進活動	H22			

6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興

団体名	事業名	実施年度			
船橋の民話をきく会	子ども達に船橋の民話を、のこす・つたえる・ひろめる・とどける事業	R1			

団体名	事業名	実施年度			
船橋障害者スポーツ・レクリエーション協会	船橋市障害者スポーツ・レクリエーションの普及・推進	H24	H25	H26	H27
千葉 桃の会	世代を超えてみんなで唱歌・童謡を歌おう	H23	H24	H25	H26
船橋古文書の会	読んでみませんか！古文書講座(初級編)	R3			
NPO法人 囲碁文化継承の会	囲碁交流による健全な児童、健全な家庭、潤いのある地域社会づくり事業	H22	H23	H24	
湖紫菟花のサークル	伝統文化 子どもたちのいけ花教室	H22	H23		
自遊時感工房	地域におけるスポーツを通じた障害者の社会参加の促進！	H22	H23		
二和劇場ボランティア実行委員会	市民が創る二和劇場 初笑い二和寄席	H22			

7 環境の保全

団体名	事業名	実施年度			
NPO 法人環境を考える市民の会	市民と育む持続可能な環境に向け学び塾の実施	H28	H29	H30	
アースドクターふなばし	～次世代を担う子どもたちに向けて～地球温暖化防止・啓発事業	H29			
三番瀬写真展実行委員会	第4回みんなの三番瀬写真	H27	H28	H29	
NGO三番瀬のラムサール条約登録を実現する会	三番瀬・東京湾のお魚・生き物出前授業	H27	H28		
フィールドミュージアム・三番瀬の会	三番瀬をフィールドとし、生き物の生物生態系や自然環境の循環を学び、市民としてまちづくりに貢献する事業	H23	H24	H25	H27
坪井湿地を復活する会	坪井のヘイケボタル復活計画	H24	H25	H26	H27
三番瀬カレンダー制作実行委員会	三番瀬カレンダー制作	H24	H25	H26	
NGO三番瀬のラムサール条約登録を実現する会	三番瀬食文化出前講座	H22	H23	H24	H25
ふなばし木の子の森	ふなばし木の子の森:わんぱく講座	H24			
NPO法人 環境を考える市民の会	市民と育む海老川うるおい創生活動	H22	H23	H24	
アースドクターふなばし	めざすはストップ地球温暖化	H22			
塚田環境フェア2010実行委員会	塚田環境フェア2010と15周年事業	H22			

8 災害救援

団体名	事業名	実施年度			
NPO法人シビルまちづく りステーション 船橋防災関 連プロジェクトチーム	「土砂災害から身をまもる」に関する調査・ 提言、知識普及および広報事業	H25	H26	H27	
船橋 SL ネットワーク	いざ災害！！わが身わが命は自分でまも る	H22	H23	H24	

9 地域安全

団体名	事業名	実施年度			
船橋東交通安全協会	交通安全を市民に普及する交通安全広報・ 啓発活動事業	H22	H23	H24	
(社)船橋交通安全協会	交通安全を市民に普及する交通安全及び 啓発活動	H22	H23	H24	
自転車運転マナー推進委 員会	公道走行に於ける自転車安全マナー実践 教室開催	H22	H23	H24	

10 人権の擁護又は平和の推進

団体名	事業名	実施年度			
原爆の絵展・平和のつどい 実行委員会	平和啓発事業	H22	H23	H24	

11 国際協力

団体名	事業名	実施年度			
船橋英語連盟	船橋市が国際都市にふさわしい親善や交 流を行える資質のある市民を増やす。船橋市 民として英語を通して国際感覚、外国人との コミュニケーション力を身につける。	H24	H25	H26	
フェアトレードちば	フェアトレードちばを知り学び味わう！コー ヒーワークショップの実施	R3			

12 男女共同参画社会の形成

団体名	事業名	実施年度			
船橋パパ会	「家族で子育てを楽しむ地域づくり～パパ が変われば地域が変わる～」	H30			
船橋ワーキングマザーの会	働く/働きたいママのための地域コミュニテ ィ	H25	H26	H27	H28

団体名	事業名	実施年度			
NPO 法人 JASH 日本性の健康協会	船橋にも多様な性を語れる交流会を！	R2	R3		

13 子供の健全育成

団体名	事業名	実施年度			
子ども食堂 こっこ	こっこが街にやってくる&こっこで学ぼう	H30	R1		
ワーカーズコープちば	制服バンク	H29	H30	R1	
親業ひまわりの会	心と心のかけ橋を作る、コミュニケーションの基本を学び広める公益活動	H25	H27	H28	
夢を育てるキャリア教育の会	「自分らしく生きる力を～」夢を育てるキャリア教育の推進・普及活動とキャリア教育支援活動事業	H27			
NPO法人 くーおん	「からだづくりを通じて心を育てる」運動が苦手な子への運動サポート事業	H25			
M あんどB	読書活動の一環として子どもの人形劇講座	H24			
0・2歳児親子遊び「かしの木会」	0・2歳児親子遊び事業「どんぐり会」「ジーバー会」	H22	H23	H24	
西船保育園父母会	孤独な育児に対してのアプローチ『ひとりぼっちで悩むのはやめよう』虐待防止に対してのアプローチ『子育てを大いに楽しもう』	H23			
パートナーズオブライフ	高齢者が生き生き人生を全うするための協働支援事業	H22			
プレーパーク船橋	講演会「子どもたちの遊びの世界」	R2			
	長津川プレーパーク～ロープワークをマスターして遊び場を手作りしよう！～	R3			

16 経済活動の活性化

団体名	事業名	実施年度			
船橋漁港の朝市委員会	みんなおいでよ！船橋漁港の朝市	H24	H25	H26	H27
丸山を元気にする会	丸山を元気にしよう！朝市・夕市の開催&丸山ひまわり110番を探せ！ハロウィンウォークラリーイベント開催	H22	H24	H26	
ふなばし街歩きネットワーク	船橋市における街案内ボランティア組織と活動の創出および人材育成事業	H22	H24	H25	
NPO法人 バイプランアソシエイツ	船橋新交通・渡船 FunabaSeaBus(水上バス)	H22			

団体名	事業名	実施年度			
船橋商工会議所青年部	市民・来訪者が求める船橋市のアンケート調査事業	H22			

19 NPO支援

団体名	事業名	実施年度			
市民協働推進連絡会	市民活動の活性化へのサポート	H24	H25		

21 その他

団体名	事業名	実施年度			
船橋市援農クラブ	農業ボランティア事業	H26	H27	H28	H29
船橋納税貯蓄組合連合会	租税納付及び広報活動関連事業	H22			

船橋市 市民生活部 市民協働課

〒273-8501 船橋市湊町2-10-25

TEL:047-436-3201

FAX:047-436-2299

E-mail:shiminkyodo@city.funabashi.lg.jp